東南インキ株式会社

作成日2019年11月22日
改訂日2022年 2月24日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製　品　名	:	UVゴールド赤口LO
会　社　名	:	東南インキ株式会社
住　　所	:	〒592-8341 大阪府堺市西区浜寺船尾町東4丁32-2
担当部門	:	[技術部]
担当者	:	[南埜 純二郎]
		電話番号 072-266-3216　　FAX番号 072-266-3217
推奨用途及び使用上の制限	:	[紫外線硬化型インキ]
整理番号	:	[UV0012]

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	:	分類対象外	
健康に対する有害性	:	急性毒性(経口)	区分4
	:	急性毒性(経皮)	区分4
	:	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
	:	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	:	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分外
	:	皮膚刺激/腐食性	区分2
	:	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	:	呼吸器感作性	分類できない
	:	皮膚感作性	区分1A
	:	生殖細胞変異原性	分類できない
	:	発がん性	分類できない
	:	生殖毒性	分類できない
	:	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1(消化器)区分3(気道刺激性)
	:	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
	:	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	:	水生環境有害性(急性)	区分2
	:	水生環境有害性(慢性)	区分2
	:	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :

注意喚起語 : ・危険

危険有害性情報 :
・H370　臓器の障害(消化器)
・H335 呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)
・H302 飲み込むと有害
・H401 水生生物に毒性
・H411 長期的影響により水性生物に毒性
・H312 皮膚に接触すると有害
・H315 皮膚刺激
・H319 強い眼刺激

・H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き : 取扱い又は使用に際し、製品安全データシート（SDS）を必ずお読み下さい。

【安全対策】

P210 ・熱/花火/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

P280 ・適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。

【応急処置】

P301＋P302＋P312 ・飲み込んだ場合、皮膚に付着した場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。

P330 ・口をすすぐこと。

P313＋P332 ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。

P302＋P352 ・皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P362 ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P391 ・漏出物を回収すること。

P370＋P378 ・火災の場合には、適切な消化剤を使用すること。

P304＋P340 ・吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる事。

【保管】

P403＋P433 ・直射日光厳禁。紫外線、熱により重合するので、密閉容器に入れ換気の良い冷暗所に保管する。

【廃棄】

P501 ・内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量

成分名	含有量%	官報公示整理番号（化審法）	CAS No.
助剤	＜2.0	登録済み	登録済み
感光性樹脂	10.0-15.0	非開示	非開示
感光性モノマー	23.0-33.0	登録済み	登録済み
光重合開始剤	5.0-15.0	登録済み	登録済み
銅	29.0-42.0	対象外	7440-50-8
亜鉛	2.0-12.0	対象外	7440-66-6
アルミニウム	＜0.5	対象外	7429-90-5
高級飽和脂肪酸	＜0.5	登録済み	登録済み
ソルベントナフサ	＜2.0	非開示	非開示

4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ、安静・保温に努め必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水を用いて洗い流し、炎症を生じた時は、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗浄した後、必要に応じて眼科医の診断を受ける。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

飲み込んだ場合 : 安静にして直ちに医師の診断を受ける。口をすすぐこと。

予想される急性症状及び遅発性症状 : 吸入により呼吸器への刺激、咳、めまい、咽頭痛、意識喪失。
皮膚に対して刺激、脱脂、発赤。
眼に対して刺激、発赤。
飲み込みにより胃腸の刺激、吐き気、嘔吐、下痢。

5.火災時の処置

消火剤 : 乾燥砂、粉末消化剤、泡消化剤

使ってはならない消火剤 : 棒状注水＝危険

火災時の特定危険有害性 : 火災によって刺激性、毒性、または腐食性のガスを発生するおそれがある。
加熱により重合し、その後発火のおそれがある。
加熱により重合し、爆発するおそれがある。
自然発火なし。

特有の消火方法 : 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
大規模火災には、泡消火器を用いて空気を遮断する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行なう者の保護 : 消火作業は、風上から行い保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
特に有毒なガスの吸入を避ける。

6.漏出時の処置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置 : 作業者には、適切な保護具(8、暴露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和 : こぼれた場合は液の拡散を防止し流出物をすくい取るか、適当な吸収剤を使用して密閉できる空容器に回収する。(吸収剤;おがくず、土、砂、ウエス等)

封じ込め及び 浄化方法と機材 : 危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取り扱う時に用いる全ての設備は接地する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

: 火気に注意し、作業場は換気を十分に行う。
取り扱いには適切な保護具を着用する。
作業衣等に付着した場合はその汚れを落とし、取り扱い後は手洗いとうがいを十分行う。
この製品を拭き取ったウエス等は、速やかに焼却又は廃棄する。

接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照

保管

適切な保管条件 : 容器は密栓して換気良好な冷暗所に貯蔵する。
指定数量以上の場合は火災予防条例に従う。

混触危険物質 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。

容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

組成物質の管理濃度 及び許容濃度 :

物質名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
銅(銅粉末として)	設定なし	設定なし	1mg/m3
ソルベントナフサ(鉱油ミストとして)	設定なし	3mg/m3	5mg/m3

設備対策 : 屋内作業時は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに手洗い設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具 : 防塵マスク

手の保護具 : 耐油性保護手袋

目の保護具 : 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴、保護作業服

適切な衛生対策 : マスク等の吸着剤の交換は定期または使用の都度行なう。

9.物理的及び化学的性質

外観 : 高粘性液体(金色)・わずかな臭い

融点/凝固点 : データなし

沸点 : 混合物としてのデータなし。 296℃～321℃(ソルベントナフサの値)

引火点 : 測定不能の為、混合物としてのデータなし (参考値:ソルベントナフサ140℃以上)

発火点	:	混合物としてのデータなし （参考値：ソルベントナフサ200℃～410℃）
爆発範囲	:	混合物としてのデータなし （ソルベントナフサ　上限：7容量%、下限1容量%（推定値）
蒸気圧	:	データなし
蒸気密度（空気＝1）	:	データなし
比重（密度）	:	1.7（25℃）
溶解度	:	有機溶剤に溶解、水に不溶
オクタノール/水分配係数	:	データなし
分解温度	:	データなし

10.安定性及び反応性

安定性	:	常温・常圧で安定。 紫外線・加熱により重合する。 高温になると発火・ガス発生のおそれあり。
避けるべき条件	:	加熱。

11.有害性情報

急性毒性（経口）	:	区分4
急性毒性（経皮）	:	区分4
皮膚刺激/腐食性		濃度が＜10%≧1%のため区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:	濃度が≧10%のため区分2
皮膚感作性	:	銅：日本衛生学会では銅およびその化合物を皮膚感作性物質第2群に分類しており、本物質は対象外となっていることから、区分1Aとした。
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	:	銅：区分1（消化器）、区分3（気道刺激性）

12.環境影響情報

水生環境有害性（急性）	:	亜鉛：成分比より区分2とした。
水生環境有害性（慢性）	:	亜鉛：成分比より区分2とした。

13.廃棄上の注意

内容物、容器を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
容器、機械装置等を洗浄した廃液等を地面や排水溝へそのまま流さないこと。
廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行なうか、委託する。

14.輸送上の注意

国際規制

国連番号	:	3082
国連輸送名	:	環境有害物質（液体）
国連分類	:	9
容器等級	:	Ⅲ
海洋汚染物質	:	該当（亜鉛）

国内規制

国連番号	:	3082
指針番号	:	171
陸上輸送	:	消防法、労働安全衛生法、毒劇法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	:	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	:	航空法に定められている運送方法に従う。
海洋汚染物質	:	該当（亜鉛）
注意事項	:	7、取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。 運搬に際して、容器・包装に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行なう。

15. 適用法令

労働安全衛生法	:	通知対象物質　銅及びその化合物・鉱油・アルミニウム 表示対象物質　銅及びその化合物・鉱油・アルミニウム
PRTR法	:	該当しない
消防法　火災予防条例	:	可燃性液体類
毒物及び劇物取締り法	:	該当しない

16. 記載内容の変更等

：・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成されている。
・法令の改正や新しい知見、情報により、記載内容が予告なしに改訂されることがある。
・取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実際に即した安全対策を講じる。

17. その他の情報

参考文献

・ ザックス有害データブック、丸善
・ 続々　銅の衛生学的研究、社団法人、日本銅センター
・ GHS分類結果：独立行政法人、製品評価技術基盤機構
・ 中央労働災害防止協会、安全衛生情報センター　化学物質情報
・ 国際科学物質安全カード　ICSC＃0240銅、＃1250亜鉛、＃0988アルミニウム
・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
・ JIS Z 7253:2019　、JIS Z 7252:2019
・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS)第7版
・ アルミペースト取り扱い安全手引き　平成16年改定2版
・ 危険物輸送に関する勧告
・ 化学品総合情報提供システム　独立行政法人　製品評価技術基盤機構(NITE)

本データシートは、一般的な工業的用途について、〔製品の適切な取り扱い〕を確保するための参考情報として提供するもので、製造者の保証書ではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作成したものであります。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださるようお願い致します。